

葛城まちづくりグリーンネットス構想 合同連絡会～開催報告～

開催日時:平成25年12月11日(水)15:00～17:00

開催場所:イーアスつくば イーアスホールA

参加者 :グリーンネットス かつらぎグリーン、かつらぎタウン、かつらぎカルチャー
上記メンバー 17名
研究会メンバー
金子座長・UR都市機構(2名)・NPO birth(1名)(株)計画工房(2名)
(一財)つくば都市交通センター(5名)
オブザーバー
つくば市(5名)

計 33名

【当日資料】

- 次第
- グリーンネットス メンバー名簿
- グリーンネットス かつらぎグリーンの活動計画
- グリーンネットス かつらぎタウン活動報告
- グリーンネットス かつらぎカルチャー活動方針と活動状況、
TX研究学園地域自慢マップ



～議事要旨～

●開会あいさつ(総合司会 かつらぎタウン代表島田氏)

●金川代表あいさつ

この会の全体の代表である金川氏より挨拶。

研究学園・葛城地区において、集う場をつくり、潤いを感じ、そしていろいろ学んでもらう場をつくる、「集い、潤い、学び」をテーマに活動をすすめていきたいと考えている。

まちづくり活動を進めるにあたっては、そのことをより多くの人に理解してもらえよう取り組んでいくことが重要。

●各グループ代表からの活動報告

パワーポイントをもとに、グリーン代表の山本氏、タウンセンター代表の島田氏、カルチャー代表の佐々木氏より発表を行った。

※次頁以降の資料参照

●会場全体のディスカッションと講評

①組織の強化について

- ・まず、組織づくりをきちんとする(年間計画、資金計画など)。
- ・活動に若い人、大学生などを参画させる工夫をする。

②PR方法について

- ・各グループ活動のPRとともに「葛城まちづくりグリーンネックレス構想」全体のPRが必要。
- ・全体の理念やビジョンについてどう対外的にアピールし、理解を深めていくか。
- ・いろいろなメディア、例えば、『つくばスタイル』などをうまく使うべきだろう。
- ・チラシやwebを活用し、お知らせを地道に発信していくことが大事。

③その他

- ・活動を通して自分たちが楽しいと思えるかどうかという視点も忘れないように。

●連絡事項

来年4月後半にセミナーを開催予定。

以上



各グループ活動報告

- グリーンネックレス かつらぎグリーンの活動計画
- グリーンネックレス かつらぎタウン活動報告
- グリーンネックレス かつらぎカルチャー活動方針と活動状況
TX研究学園地域自慢マップ



グリーンネットワーク かつらぎグリーンの活動計画

平成25年12月11日
みどり系グループ

はじめに

つくば研究学園都市は、1963年9月10日に建設が閣議了解され、今年で50周年を迎えました。

この間、2005年8月には「つくばエクスプレス」が開通し、目覚ましい発展をし続けています。

特に研究学園駅周辺部は駅周辺の街区が整備され、大規模ショッピングセンター、高層マンション、分譲住宅などの建設が盛んで、今後も発展が期待されています。

一方、中心地を離れると森、畑が広がる自然豊かな地域で、散歩コースに適した道が沢山有る地域でもありません。

しかし、計画的に開発された「まち」は街路樹などの植樹は行われてはいるが、雑草が生い茂る状況で、近代的な都市とはアンマッチな状況です。

一方、住民は従来からの地元住民と転居してきた新住民とが混在しているが、交流は少なく、協働的な活動は少ない状況です。

このように研究学園(旧葛城・荻間地区)は誕生したばかりの「まち」なので、**新旧の住民が手を組んで新しいコミュニティを構築すると同時に、地区周辺の里山のみどり資源を活用した「まちづくり」を目的に活動を進めることにしたいと考えています。**

目 標

葛城地区及び周辺の里山のみどり資源「花」「森」「農」を市民協働で育み、緑の基軸(グリーンネックレス)となる自然環境とコミュニティづくりを進める。



今までの取り組み

1. 打ち合わせの実施

- ① 第1回 9月 7日 みどり系グループの今後の進め方について打ち合わせ
具体的にはシンボル事業としてポンパドールの花壇作りを行うことを決定
- ② 第2回 10月 4日 専門家を交えたポンパドールの花壇デザインを考えた
- ③ 第3回 11月24日 今後の活動目標、計画等について打ち合わせ

2. 花壇づくりの実施

10月18日に総勢9名で花壇づくりを実施

- ① ポンパドールのオーナーである金川様のご理解を得て花壇を借りることができるようになった
- ② 花の苗などを購入する資金、肥料、玉砂利及び花の苗等を金川様から提供を受けた

3. 花壇のお披露目

10月22日にタウンセンター系グループが開催した「パンとワインと音楽と」のミニコンサートの場で来場者に花壇を紹介した

ポンパドールの花壇作成準備



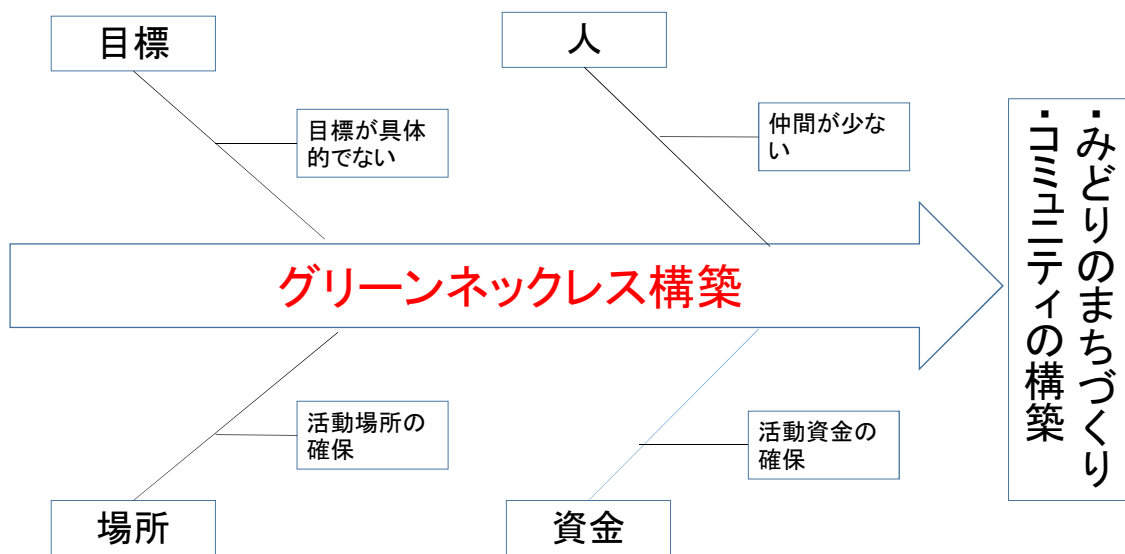
ポンパドールの花壇作成作業



ポンパドールの花壇



課題



今後の取り組み—[目標の明確化]

現 状

本活動は一般財団法人 つくば都市交通センター様が立ち上げた組織だったので、参加者自体が自主的にどのような取り組み・活動を行えば良いのか戸惑いがある



今 後

参加者自体が主体的に考え、活動できるように定期的な打ち合わせを実施し、活動方針・計画などを共有できるような仕組みに変えていく。なお、一般財団法人 つくば都市交通センター様にはアドバイザーのような役割を担っていただくようにする

今後の取り組み—[花一杯活動]

目 標

当面の活動エリアとしてTX北側の結婚式場「ラフェリーチェ」からスーパー「とりせん」の範囲とし、土地を所有されている地主、公共機関などの了解が取り付けられた場所に花などを植える活動を行う



具体的な活動

- ①当初は駅からイースまでのメイン通りを中心に取り組む
- ②地権者の了解が得られる空地を探す
- ③花壇づくりのほか、照明塔、街路樹などへのハンギングバスケットの取り付けについても検討する
- ④花苗については市役所が実施しているウエルカムシティの活用を検討する

花壇候補地ーベストランド駐車場



花壇候補地ーセブンイレブン



花壇候補地－セブンイレブン



花壇候補地－サーパスマンション横



花壇候補地－サーパスマンション横



花壇候補地－ポンパドールと「とりせん」の間



花壇候補地－TXガード下(市役所に行く途中)



花壇候補地－TXガード下(市役所に行く途中)



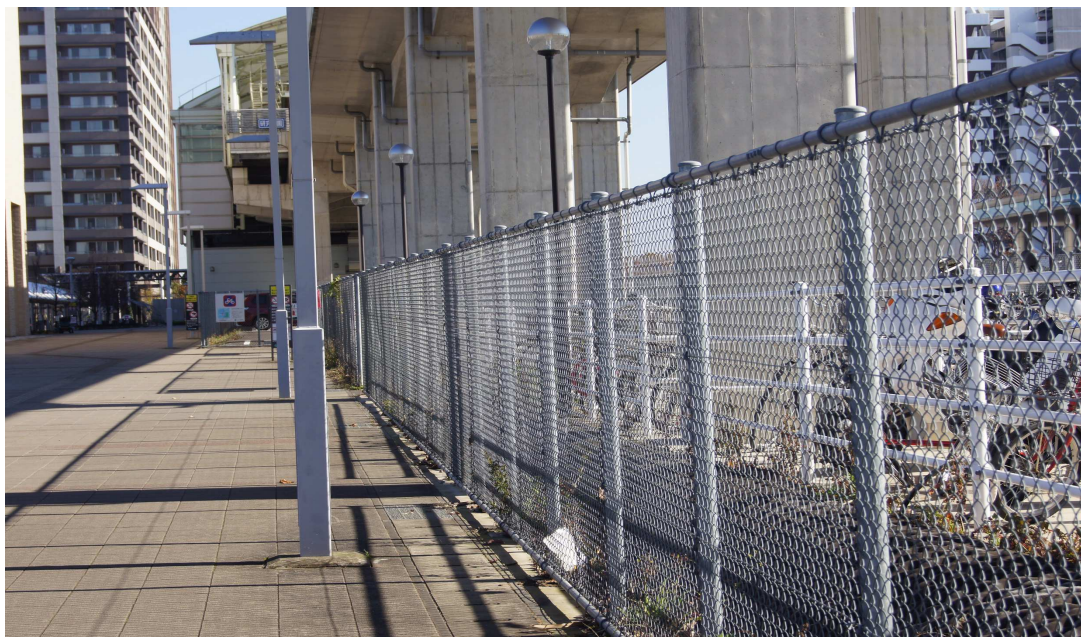
ハンギングバスケット設置候補-駅前



ハンギングバスケット設置候補-取付箇所候補



ハンギングバスケット設置候補-TXガード下フェンス(市役所への通り)



今後の取り組み—[農への取り組み]

目標

市街地の近郊に農地が広がっていることから、地権者から了解が得られる畑を探し、子供、若者、老人等がふれあえる場所として活用できるような環境を構築する活動を行う

具体的な活動

- ①畑を所有している地権者との交渉
- ②畑を通じたふれ合いを求める希望者の募集
- ③畑を維持する仕組みの構築
- ④収穫祭の実施

今後の取り組み—[森とふれあう活動]

目 標

研究学園駅から10分程度の所に自然豊かな森があることから、この森が市民の憩いの場所となるようなお手伝いがグループとして行なえないか、その可能性について検討する



具体的な活動

- ①森の管理が来春から市に移管されるとのことなので、グループとしてどのような活動が可能か情報収集を行う
- ②市への情報収集活動後、グループとしての活動が可能ならば、その取り組み方法・体制などを構築する

市役所との打ち合わせを実施

平成25年12月4日(水曜日)10:00~11:30に街路樹下等に花を植える場合などのご相談を行った。その結果、次頁の「市役所にご相談したい事項」を整理して提出することになった。

市役所にご相談したい事項

つくば市都市建設部都市計画課 様

平成25年12月6日
かつらぎグリーン 山本

市役所にご相談したい事項

平成25年12月4日の打ち合わせを受け、「かつらぎグリーン」として次のような事項についてご相談できればと考えています。

1. サークパスつくば研究学園マンション横の街路樹下で草花を栽培し街を綺麗に飾りたいと考えていますが、この場所を借りるにはどちらの部署にご相談すればよろしいでしょうか。
2. パン屋ボンパドールとスーパーとりせんの間の街路樹下で草花を栽培し街を綺麗に飾りたいと考えていますが、この場所を借りるにはどちらの部署にご相談すればよろしいでしょうか。
3. 駅前ロータリーのバス停留所の建物にハンギングバスケットを設置したいと考えていますがどちらの部署にご相談すればよろしいでしょうか。
4. 上記の1～3項の場所及び活動は「ウエルカム フラワーCityつくば」の活動に該当するのでしょうか。
5. 上記の1～3項が仮に「ウエルカム フラワーCityつくば」に該当しない場合には、花苗を入手する手段があるのでしょうか。あれば教えてください。
6. 平成26年1月頃に私たちが取り組もうとしている「花一杯活動」に関連する市役所様の取り組みについて講師の派遣をお願いできないでしょうか。

以上について、ご検討方よろしくお願い申し上げます。

議事録－飯島 昇様

1. 開催日時 平成25年12月6日(金曜日)14:00～15:30
2. 開催場所 飯島さんのご自宅
3. 出席者 (敬称略)飯島 昇
つくば都市交通センター: 桜井、野村
飯島 勲夫妻、山本夫妻
4. 資料 グリーンネックレスかつらぎグリーンの活動計画
5. 議題 農への取り組みについてご相談
6. 主な議論

山本から「グリーンネックレスかつらぎグリーンの活動計画」を説明後、意見交換を行った。主な意見は次の通りである。

- ① 畑を貸す人はいるが、しっかりとした組織でないと後々問題が出るので、しっかりとした組織を先に作って欲しい。
- ② 畑をただ作っても駄目で、水道、トイレなどの設置が必要になる。そのような面からも、しっかりとした計画を作る必要がある。
- ③ 市などからの補助金を仮にもらえても継続してもらえないものではないので、活動を継続的に行うには資金面でも考えておく必要がある。場合によっては持ち出しも覚悟しておかなければならない。
- ④ 以上のようなことから当面はボンパドールの花壇に次ぐ第2号の花壇づくりを目指し、組織の確立を図る。

スケジュール

	2013年度 4/4	2014年度 1/4	2014年度 2/4	2014年度 3/4	2014年度 4/4
目標の明確化	△ 定期打ち合わせ △	△	△	△	△
花一杯活動	花壇づくりの場所を 地権者と協議 △	地権者の了解取付	花壇づくりを通じた組織の確立・会員増強		
農への 取り組み		花壇づくりを通じた組織の確立・会員増強			
森と ふれあう活動		市役所の方針が定まるまで待つ			



ご清聴

ありがとうございました



葛城グリーンネックレス

かつらぎタウン 活動報告

平成25年12月11日(水)
イーアスホール

目 標にかえて

“グリーンネックレス”はTX開通によってできたまったく新しいまちにおいて、住民が白紙の状態から関わり、“住民の住民による住民のための”まちづくりをめざすグループです。

通常、住民によるまちづくり活動は「再生」の場合がほとんどですが、私たちのまちづくりは「新生」です。これは非常に幸運であり、また同時に責任ある活動であると言えます。

それを忘れることなく“かつらぎタウン”は住民が中心となってかつらぎタウンセンター地区の活性化を目指します。

かつらぎ3原則

- できることから始める
- 新たなテーマを発掘する
- まちづくりビジョンを共有する

これまでの活動(ワークショップなど)

- 4月22日 第1回ワークショップ
- 6月7日 第2回ワークショップ、まちあるき、懇親会
- 8月7日 第3回ワークショップ
- 9月20日 樹木調査
- 10月2日 第4回ワークショップ
- 10月22日 「パンとワインと音楽と」イベント開催
- 10月27日 タウン・グリーン合同ワークショップ

活動報告(ワークショップなど)

第2回ワークショップ(まち歩き)



樹木調査(樹木医:池田氏)

活動報告(ワークショップなど)

ワークショップでの成果

- 第1～4回のワークショップとまちあるき、樹木調査を通じ、今後の活動の確認した。

(できる活動)

- | | | |
|---------------|---|----------|
| 1. 界隈性、賑わいづくり | → | イベント開催 |
| 2. 景観の向上 | → | 駅前緑化 |
| 3. 実態調査 | → | タウンマップ作成 |

活動報告(ポンパドウルイベント)

「パンとワインと音楽と」

- 実施のきっかけ
→議論ばかりでなく、とりあえず何かやってみよう。
- プロジェクトチームによる企画、手配、準備
(打ち合わせ等 8/19・8/29・9/4・9/25・10/2・10/15)

開催結果 来場者62名(来場予想50~70名)
大きな事故もなく、滞りなく実施できた。

活動報告(ポンパドウルイベント)

パンとワインと音楽と
ポンパドウル焼きたてパンと筑波ハム、フルート奏者ジャズピアニストによるミニコンサート

10/22 火 16:00~18:00
会場: ポンパドウル つくば店駐車場
料金: 1,500円 (予約制 先着70名様)
直輸入ワイン 1杯 300円で別途お楽しみいただけます。

(ポスター掲示・チラシ設置場所)
ポンパドウル、イーアス、ラジオつくば、市民活動センター、筑波ハム、水戸信用金庫、つくば都市交通センター



活動報告(ポンパドウルイベント)

イベントからの学び ①

☆ポンパドウルイベントでの収穫

- *グリーンネックレスの他の2グループとの連携
- *地域企業との連携(ポンパドウル、筑波ハム)
- *企画を実施した、達成感、自信



今後のかつらぎタウンの活動の方向性を示唆

活動報告(ポンパドウルイベント)

イベントからの学び ②

☆ポンパドウルイベントの反省点

- *人員不足
- *経験不足
- *広報不足
- *組織不足



かつらぎタウン活動の課題と重複

今後の活動について

- ワークショップ(第1~4回)での成果
- +
- ポンパドウルイベントでの成果、課題
- +
- かつらぎ3原則 できることから始める
- ↓
- 活動内容の限定化、精選化**

今後の活動について

活動の限定化、精選化①

*現状

ワークショップを通じて、活動を絞った。

- 1、イベント開催
- 2、タウンマップ作成
- 3、駅前地区での緑化活動

*問題点

ポンパドウルイベントで課題が浮き彫りになった。
現状の人数、組織の状態では、この3つも難しい。
負担が大きく、3原則の1つ「できることから」からも外れる。

今後の活動について

活動の限定化、精選化 ②

*解決策

第5回ワークショップで当面、活動をイベントだけに絞ることを確認。
最終目標である“タウンセンター地区の活性化”は常に念頭に置きながら、まず活動を1つに絞り、その活動を通じて基盤づくりをする（組織づくり、増員、ノウハウ獲得、各方面とのコネづくり、広報活動）。

活動を明確化し団体登録や助成金の申請を行う。
基盤づくりをしながら、じっくりと活動範囲を広げていき、最終目標へと向かう。

今後の活動について

イベントの継続

①会場の継続

ポンパドウルで別の趣旨の小規模なイベントを頻繁に行う。

パン作り講座、ワイン講座etc…

②「パンとワインと〇〇と」の継続

このイベントを繰り返すことで、“パンの街 つくば”の基地が研究学園地区だと既成事実化させる。

今後の活動について

「パンとワインと〇〇と」のイベント案

4月 「パンとワインと桜と」または「パンと桜と音楽と」

学園の杜公園（イース側西側の公園）でお花見イベント。
まだ認知度の低い公園を積極的に活用し、アピールする。
イベントでは「千本桜運動」も広告して、
将来的には「千本桜」ともつなげる「さくら祭りへ」

11月 「パンとワインとマラソンと」

つくばマラソン当日、研究学園駅は連絡バス発着場所として賑わう。
マラソン参加者がターゲット。そのまま帰ってしまうのは、もったいない。
市外の人たちに“パンの街つくば”をアピールする。
マラソン大会はボジヨレ・ヌーボー解禁日（11月第3土曜日）直後の日曜日なので、タイミング的に最適。

今後の活動について

当面の最大目標の設定

研究学園駅 開駅10周年（2015年8月）イベント

この頃までに組織を軌道に乗せるようにし、
最終目標“タウンセンター地区の活性化”に向け、
他の活動（オープンカフェ等）にも手を広げていく。

今後の活動について

課題その他

*ワークショップで具体化していたイベント以外の活動は
メインでは行わないが他グループと協力する。

①マップづくり→かつらぎカルチャー

②駅前地区での緑化活動→かつらぎグリーン

*市、地元協議会、その他活動団体との連携

*定例化

(1)



活動方針と活動状況

平成25年12月11日

葛城まちづくり グリーンネックレス構想
歴史文化・地域資源系グループ
つくば市地域まちづくりグループ登録
愛称＝かつらぎカルチャー

(2)

経緯

- 研究学園葛城地区まちづくりを進めるに当たり、研究会、モニター勉強会をH24年5月にスタートした。H25年3月に「葛城まちづくりビジョン、グリーンネックレス構想」が策定された。3つのテーマ別計画が提案され、その1つの歴史文化・地域資源を生かす計画を推進するグループとして活動を開始した。
- H25年6月には、つくば市まちづくりグループに登録され活動している。

(3)

研究学園葛城地区の背景

- ① 急激な開発
住宅地、商業施設、事業施設など開発は急ピッチで進められ、
インフラ整備も途中である。
- ② 街の特徴
 - 1) 転入してきた新住民「約8000人(約1000人/年の増加)」
 - 2) 元々から居住している住民
 - 3) 商業施設やオフィスへの就業者
 - 4) 業務の訪問者や商業施設への買い物客定着人口は急激に増加し、昼間人口も増加傾向である。日々における
人の流れは激しく、多様性の街である。
- ③ 地図の有無
約500haの新しい街が誕生したが、それに伴う新しい地図、
ナビ、webなど最近整備されたが、更新は間に合っていない。
当地域の地図は必要とされている。

(4)

目標

地域の歴史文化資産を含む地域資源を学び
評価し、新たな文化の薫るまちづくりを進めると
ともに、市民の交流を図り、時を重ねてきた地域
への理解を深め、愛着を育む。(ビジョンより)

街づくりの基本は、街に「共通言語」(情報の共
有化)を持たせることにあり、地図作りによって
「共有できる言語・モノ」を提供する。地図をベー
スとし、住み良さを生む活動をする。(グループ)

(5)

自慢マップの意義

(地域の自慢マップを作成する)

① 共通言語を提供する。

地図は誰もが地域を知るための極ポピュラーな「共通言語」である。

② 地域の歴史を知る。

地図を通し、地域の歴史・文化などを知る。
(開発区域の周辺近郊に多数ある。)

③ 住み良さを見つける。

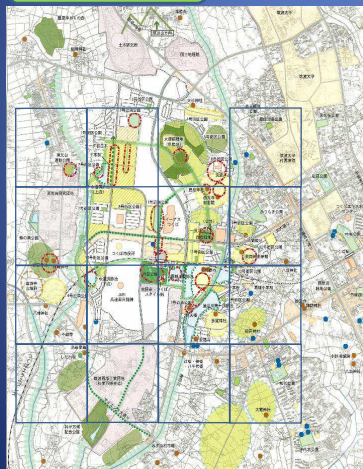
地図を通し、街の良いところを知る。

(6)

自慢マップの概要

「自慢マップ」予定原稿参照(別途配布資料)

対象範囲



TX研究学園駅を中心とする。

北 (約3km)

豊里ゆかりの森

南 (約2.5km)

みずほの村市場

東 (約2km)

苅間八坂神社

西 (約2km)

面野井古墳群跡

(7)

自慢マップの作成方針

- ① 自慢ポイント(施設等)を20ヶ所に厳選し、コメントを付けて紹介する。
- ② ビューポイント(景観の良い地点)を紹介する。
※ 定期的な更新を前提とし、bestでなくbetterにて推進する。
- ③ 「自慢マップ」を基に順次、活動を広げ下記の内容を整備したい。
 - ・ 散策コースの策定
 - ・ 地域内の名所古跡の掘り起し

自慢マップの配布先及び配布方針

- ・ 市などの公共機関
- ・ 主要な民間施設
- ・ 区会を通じて住民

(8)

WSの活動記録

第1回WS(H25/3/27)

会員の登録、代表選出、連絡網整備

自慢マップ制作のために、小グループの「探検隊」を作り情報収集を行うこととした。

第2回WS(H25/5/22)

「探検隊」の収集情報の報告と自慢マップの概要を討議した。

つくば市まちづくりグループに登録申請し、6月に受理された。

第3回WS(H25/7/8)

自慢マップの原案策定 表紙はイラストで構成する。
ビューポイントについて検討した。

WSの活動記録 2

(9)

第4回WS(H25/9/9)

自慢マップの校正、印刷に向け、印刷部数、配布方法、資金等を検討した。

アイラブつくば助成金を申請 つくば市のヒアリング(11/11)を受ける。

第5回WS(H25/10/28)

散策ルートマップ策定のために、遊歩会実施

※助成金100千円の裁定あり(H25/11/27)

作業部会(H25/11/22)

国土地理院にて「つくば ときの記憶」学園都市の今むかしを視察した。

WS(全体)のほかにメンバーの個々の活動記録

(10)

- 地元歴史家の案内による探検隊の編成、実施
- 歴史的建造物の調査、旧跡の掘り起し
- 石碑の読み取り、古文の読み取り
- 旧家への訪問、聞き取り
- 自然林の探検と歩行ルートの確認
- 散策ルートのテスト歩行
- 自慢マップに掲載予定の施設オーナーの承諾をうけるための訪問
- 自慢ポイント等のイラスト作成
- ベストビューポイントの写真撮影

(11)

今後の活動予定

今年度(H25)

第6回WS(H25/12コロナ予定)

自慢マップの最終校正

アイラブつくば助成金(100千円)を考慮した

印刷の具現化について

※合同連絡会(H25/12/11予定)に参加

※作業部会 印刷の実施

第7回WS(H26/2コロナ 予定)

自慢マップの配布

一般住民対象の遊歩会(解説付き)開催準備

(12)

今後の活動と課題

I 活動テーマ

- ① 自慢マップの更なる充実
- ② 歴史文化の小冊子作成と歴史セミナーの開催
歴史・文化的な箇所の調査資料を纏めて小冊子に編集する。あわせて小冊子に絡むテーマにつき専門家によるセミナーを住民に向けて行う。
- ③ タウンエリア(駅前地区)の自慢マップの作成
- ④ 散策コースの設定、整備(名称、解説、案内板など)
- ⑤ つくば環境フォーラムとの共催の散策会の開催

Ⅱ 課題

- ① 組織構築 規約作成、役割分担、会計システム
 - ② 資金計画 「アイラブつくば」助成金活用、
オフィシャルな「まちづくりファンド」の活用、
企業への寄附依頼など
 - ③ 計画表 年間計画、中長期計画など
 - ④ PR広報活動 ブログまたはHPの立ち上げ、
プレスリリースの実施
TX研究学園駅(出入口)の活用
つくば市広報および市関係機関の活用
 - ⑤ チェック・アドバイス機能
まちづくりの専門家、地図作りの経験者などの起用
 - ⑥ メンバー増員策 口コミ、PR広報
 - ⑦ グループの位置づけ 「つくば市まちづくり推進団体」を目指す。
他のまちづくり団体と連携、
「つくば市区会連合会」と連携
- 以上